

USリート・プラス

(為替ヘッジあり/毎月分配型) (為替ヘッジなし/毎月分配型)

(為替ヘッジあり/年2回決算型) (為替ヘッジなし/年2回決算型)

運用報告書(全体版)

毎月分配型

第42期 (決算日 2023年3月27日)
第43期 (決算日 2023年4月26日)
第44期 (決算日 2023年5月26日)
第45期 (決算日 2023年6月26日)
第46期 (決算日 2023年7月26日)
第47期 (決算日 2023年8月28日)

年2回決算型 第8期 (決算日 2023年8月28日)
(作成対象期間 2023年2月28日～2023年8月28日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合	
信託期間	2019年9月6日～2029年8月24日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券(米ドル建)	
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	毎月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1および第2計算期末には、収益の分配は行ないません。
	年2回決算型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3393>
<3394>
<3395>
<3396>

(為替ヘッジあり/毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 配込	騰落	中率		
	円	円		%	%	百万円
18期末 (2021年3月26日)	8,990	40		2.4	99.6	62
19期末 (2021年4月26日)	9,674	40		8.1	98.0	69
20期末 (2021年5月26日)	9,801	40		1.7	95.7	26
21期末 (2021年6月28日)	10,162	40		4.1	97.4	27
22期末 (2021年7月26日)	10,373	40		2.5	93.8	22
23期末 (2021年8月26日)	10,328	40	△	0.0	97.7	22
24期末 (2021年9月27日)	10,285	40	△	0.0	98.0	22
25期末 (2021年10月26日)	10,721	40		4.6	96.0	23
26期末 (2021年11月26日)	10,753	40		0.7	96.7	23
27期末 (2021年12月27日)	10,884	40		1.6	96.1	24
28期末 (2022年1月26日)	10,145	40	△	6.4	94.9	22
29期末 (2022年2月28日)	9,882	40	△	2.2	95.1	22
30期末 (2022年3月28日)	10,054	40		2.1	95.5	22
31期末 (2022年4月26日)	10,326	40		3.1	95.1	24
32期末 (2022年5月26日)	8,874	40	△	13.7	93.8	20
33期末 (2022年6月27日)	8,438	40	△	4.5	97.2	20
34期末 (2022年7月26日)	8,555	40		1.9	97.6	19
35期末 (2022年8月26日)	8,890	40		4.4	98.1	20
36期末 (2022年9月26日)	7,625	40	△	13.8	101.3	15
37期末 (2022年10月26日)	7,162	40	△	5.5	95.2	14
38期末 (2022年11月28日)	7,659	40		7.5	90.5	15
39期末 (2022年12月26日)	7,349	40	△	3.5	91.1	14
40期末 (2023年1月26日)	7,836	40		7.2	93.7	15
41期末 (2023年2月27日)	7,513	40	△	3.6	98.2	14
42期末 (2023年3月27日)	6,905	40	△	7.6	92.8	13
43期末 (2023年4月26日)	7,090	40		3.3	95.1	14
44期末 (2023年5月26日)	6,741	40	△	4.4	99.0	13
45期末 (2023年6月26日)	6,899	40		2.9	102.6	13
46期末 (2023年7月26日)	7,433	40		8.3	88.8	15
47期末 (2023年8月28日)	6,926	40	△	6.3	98.1	13

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

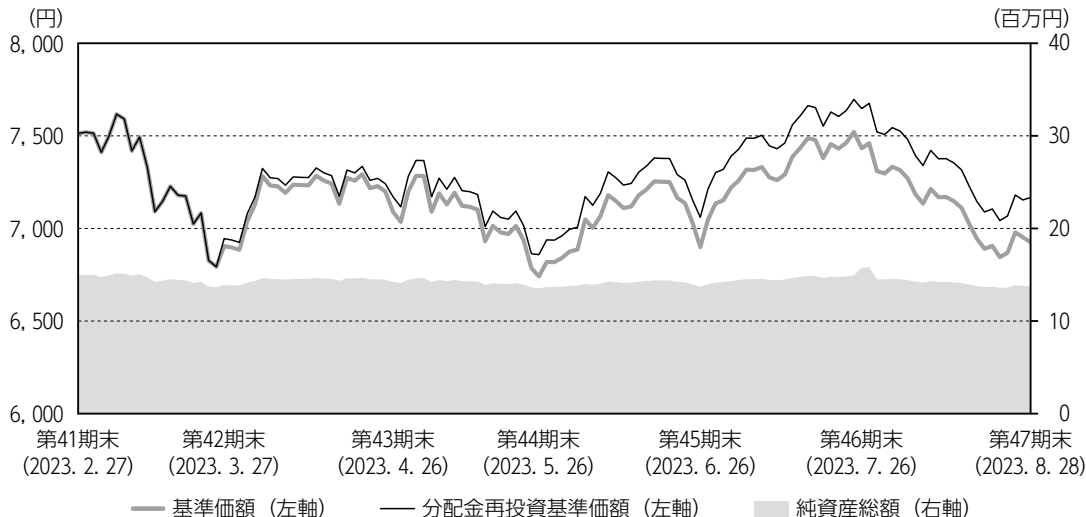
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第42期首：7,513円

第47期末：6,926円（既払分配金240円）

騰落率：△4.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローンは上昇したものの、米国リートが下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジあり／毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率 %
		円	騰 落 率 %	
第42期	(期首) 2023年2月27日	7,513	—	98.2
	2月末	7,520	0.1	98.3
	(期末) 2023年3月27日	6,945	△ 7.6	92.8
第43期	(期首) 2023年3月27日	6,905	—	92.8
	3月末	7,128	3.2	95.0
	(期末) 2023年4月26日	7,130	3.3	95.1
第44期	(期首) 2023年4月26日	7,090	—	95.1
	4月末	7,200	1.6	95.4
	(期末) 2023年5月26日	6,781	△ 4.4	99.0
第45期	(期首) 2023年5月26日	6,741	—	99.0
	5月末	6,841	1.5	99.0
	(期末) 2023年6月26日	6,939	2.9	102.6
第46期	(期首) 2023年6月26日	6,899	—	102.6
	6月末	7,221	4.7	97.6
	(期末) 2023年7月26日	7,473	8.3	88.8
第47期	(期首) 2023年7月26日	7,433	—	88.8
	7月末	7,297	△ 1.8	94.7
	(期末) 2023年8月28日	6,966	△ 6.3	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

米国リート市況

米国リート市況は下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B (米国連邦準備制度理事会) による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I (消費者物価指数) が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B (米国連邦準備制度理事会) による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I (人工知能) 関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるF F レート (フェデラル・ファンド・レート) の誘導目標を4. 50~4. 75%から5. 25~5. 50%に上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス(※)」の値動きに80%程度
連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン
等を実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動す
る債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

(ご参考) 「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率(%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

(注1) 上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2023年2月28日 ～2023年3月27日	2023年3月28日 ～2023年4月26日	2023年4月27日 ～2023年5月26日	2023年5月27日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月26日	2023年7月27日 ～2023年8月28日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.58	0.56	0.59	0.58	0.54	0.57
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,097	2,146	2,203	2,255	2,310	2,359

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 84.64円	✓ 89.07円	✓ 97.60円	✓ 91.12円	✓ 90.05円	✓ 88.38円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	487.49	488.24	488.50	489.61	606.80	607.53
(d) 分配準備積立金	1,565.12	1,609.02	1,657.85	1,714.37	1,653.92	1,703.27
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,137.25	2,186.34	2,243.96	2,295.10	2,350.78	2,399.19
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,097.25	2,146.34	2,203.96	2,255.10	2,310.78	2,359.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する
債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実
質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2023. 2. 28～2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	0.617%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,168円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.410)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	12	0.168	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.067)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(7)	(0.098)	CLS 決済に関わる手数料、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	56	0.785	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

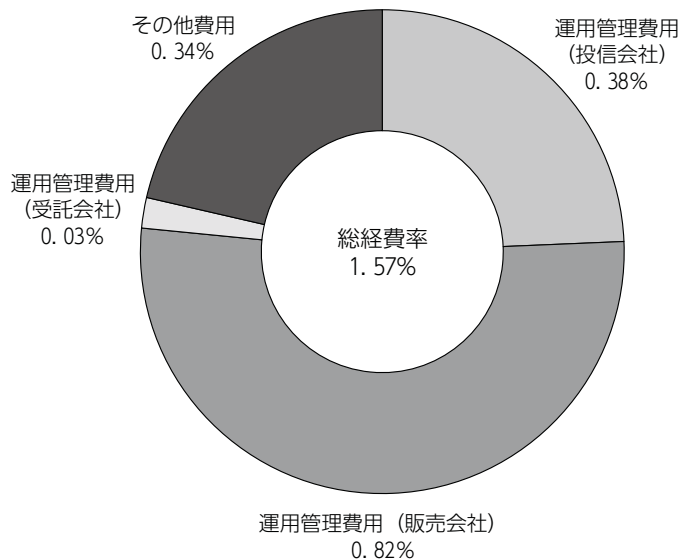
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

決 算 期		第 42 期 ～ 第 47 期	
		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ 社債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 5 (—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

第 42 期 ～ 第 47 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	千円 852

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額面金額	第 47 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 160	千アメリカ・ドル 92	千円 13,489	% 98.1	% —	% —	% —	% 98.1

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 47 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 160	千アメリカ・ドル 92	千円 13,489	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,489	93.6
コール・ローン等、その他	918	6.4
投資信託財産総額	14,407	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 第47期末における外貨建純資産（13,803千円）の投資信託財産総額（14,407千円）に対する比率は、95.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月27日)、(2023年4月26日)、(2023年5月26日)、(2023年6月26日)、(2023年7月26日)、(2023年8月28日)現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	27,106,674円	28,822,737円	28,223,120円	28,563,516円	32,543,446円	27,991,382円
コール・ローン等	771,846	1,155,624	883,315	299,680	1,683,306	901,270
公社債（評価額）	12,877,648	13,536,145	13,388,872	14,045,662	13,989,081	13,489,634
未収入金	13,439,267	14,111,890	13,930,586	14,215,599	16,867,145	13,595,371
その他未収収益	17,913	19,078	20,347	2,575	3,914	5,107
(B) 負債	13,223,440	14,587,594	14,694,622	14,870,977	16,796,971	14,244,453
未払金	13,129,078	14,492,411	14,594,233	14,776,482	16,696,773	14,142,660
未払収益分配金	80,420	80,307	80,276	79,389	84,741	79,390
未払解約金	15	—	5,310	—	200	15
未払信託報酬	13,843	14,702	14,539	14,749	14,810	15,902
その他未払費用	84	174	264	357	447	6,486
(C) 純資産総額（A－B）	13,883,234	14,235,143	13,528,498	13,692,539	15,746,475	13,746,929
元本	20,105,184	20,076,880	20,069,193	19,847,473	21,185,309	19,847,593
次期繰越損益金	△ 6,221,950	△ 5,841,737	△ 6,540,695	△ 6,154,934	△ 5,438,834	△ 6,100,664
(D) 受益権総口数	20,105,184□	20,076,880□	20,069,193□	19,847,473□	21,185,309□	19,847,593□
1万口当り基準価額（C/D）	6,905円	7,090円	6,741円	6,899円	7,433円	6,926円

* 当作成期首における元本額は19,939,415円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は1,583,333円、同解約元本額は1,675,155円です。

* 第47期末の計算口数当りの純資産額は6,926円です。

* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,100,664円です。

■損益の状況

第42期 自2023年2月28日 至2023年3月27日 第44期 自2023年4月27日 至2023年5月26日 第46期 自2023年6月27日 至2023年7月26日
 第43期 自2023年3月28日 至2023年4月26日 第45期 自2023年5月27日 至2023年6月26日 第47期 自2023年7月27日 至2023年8月26日

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	187,227円	185,798円	211,685円	188,311円	193,723円	203,940円
受取利息	185,690	184,635	210,416	187,007	192,387	202,806
その他収益金	1,537	1,163	1,269	1,304	1,339	1,152
支払利息	—	—	—	—	3	18
(B) 有価証券売買損益	△ 1,313,331	283,437	△ 816,804	220,513	956,409	△ 1,101,138
売買益	543,690	694,650	638,927	781,961	1,183,699	555,835
売買損	△ 1,857,021	△ 411,213	△ 1,455,731	△ 561,448	△ 227,290	△ 1,656,973
(C) 信託報酬等	△ 17,053	△ 17,589	△ 15,797	△ 16,178	△ 17,406	△ 28,523
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,143,157	451,646	△ 620,916	392,646	1,132,726	△ 925,721
(E) 前期繰越損益金	△ 4,479,360	△ 5,692,297	△ 5,318,115	△ 5,949,035	△ 5,635,501	△ 4,296,047
(F) 追加信託差損益金	△ 519,013	△ 520,779	△ 521,388	△ 519,156	△ 851,318	△ 799,506
(配当等相当額)	(980,115)	(980,244)	(980,387)	(971,753)	(1,285,536)	(1,205,811)
(売買損益相当額)	(△ 1,499,128)	(△ 1,501,023)	(△ 1,501,775)	(△ 1,490,909)	(△ 2,136,854)	(△ 2,005,317)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 6,141,530	△ 5,761,430	△ 6,460,419	△ 6,075,545	△ 5,354,093	△ 6,021,274
(H) 収益分配金	△ 80,420	△ 80,307	△ 80,276	△ 79,389	△ 84,741	△ 79,390
次期繰越損益金 (G + H)	△ 6,221,950	△ 5,841,737	△ 6,540,695	△ 6,154,934	△ 5,438,834	△ 6,100,664
追加信託差損益金	△ 519,013	△ 520,779	△ 521,388	△ 519,156	△ 851,318	△ 799,506
(配当等相当額)	(980,115)	(980,244)	(980,387)	(971,753)	(1,285,536)	(1,205,811)
(売買損益相当額)	(△ 1,499,128)	(△ 1,501,023)	(△ 1,501,775)	(△ 1,490,909)	(△ 2,136,854)	(△ 2,005,317)
分配準備積立金	3,236,460	3,328,949	3,442,785	3,504,065	3,609,944	3,476,619
繰越損益金	△ 8,939,397	△ 8,649,907	△ 9,462,092	△ 9,139,843	△ 8,197,460	△ 8,777,777

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	170,174円	178,833円	195,888円	180,859円	190,792円	175,417円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	980,115	980,244	980,387	971,753	1,285,536	1,205,811
(d) 分配準備積立金	3,146,706	3,230,423	3,327,173	3,402,595	3,503,893	3,380,592
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,296,995	4,389,500	4,503,448	4,555,207	4,980,221	4,761,820
(f) 分配金	80,420	80,307	80,276	79,389	84,741	79,390
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	4,216,575	4,309,193	4,423,172	4,475,818	4,895,480	4,682,430
(h) 受益権総口数	20,105,184□	20,076,880□	20,069,193□	19,847,473□	21,185,309□	19,847,593□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（為替ヘッジなし／毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額				公社債比率	純資産額
	（分配落）	税金配込	期騰落	中率		
18期末（2021年3月26日）	円 8,990	円 60		% 5.3	% 98.6	百万円 2,229
19期末（2021年4月26日）	9,531	60		6.7	98.5	2,255
20期末（2021年5月26日）	9,710	60		2.5	98.7	2,360
21期末（2021年6月28日）	10,235	60		6.0	99.2	2,223
22期末（2021年7月26日）	10,425	60		2.4	98.5	2,291
23期末（2021年8月26日）	10,324	60	△	0.4	98.3	2,167
24期末（2021年9月27日）	10,324	60		0.6	98.6	2,292
25期末（2021年10月26日）	11,037	60		7.5	98.2	2,360
26期末（2021年11月26日）	11,159	60		1.6	98.4	2,422
27期末（2021年12月27日）	11,244	60		1.3	98.9	2,393
28期末（2022年1月26日）	10,387	60	△	7.1	98.0	2,195
29期末（2022年2月28日）	10,236	60	△	0.9	98.1	2,231
30期末（2022年3月28日）	10,988	60		7.9	99.0	2,492
31期末（2022年4月26日）	11,787	60		7.8	97.1	2,540
32期末（2022年5月26日）	10,090	60	△	13.9	97.2	2,198
33期末（2022年6月27日）	10,145	60		1.1	98.0	2,379
34期末（2022年7月26日）	10,429	60		3.4	97.7	2,545
35期末（2022年8月26日）	10,886	60		5.0	99.6	2,702
36期末（2022年9月26日）	9,869	60	△	8.8	96.9	2,579
37期末（2022年10月26日）	9,580	60	△	2.3	97.9	2,618
38期末（2022年11月28日）	9,704	60		1.9	98.1	2,696
39期末（2022年12月26日）	8,866	60	△	8.0	99.0	2,486
40期末（2023年1月26日）	9,269	60		5.2	98.9	2,625
41期末（2023年2月27日）	9,397	60		2.0	97.9	2,673
42期末（2023年3月27日）	8,284	60	△	11.2	98.7	2,403
43期末（2023年4月26日）	8,748	60		6.3	99.3	2,550
44期末（2023年5月26日）	8,716	60		0.3	98.6	2,533
45期末（2023年6月26日）	9,185	60		6.1	98.5	2,678
46期末（2023年7月26日）	9,773	60		7.1	99.1	2,878
47期末（2023年8月28日）	9,492	60	△	2.3	98.3	2,763

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

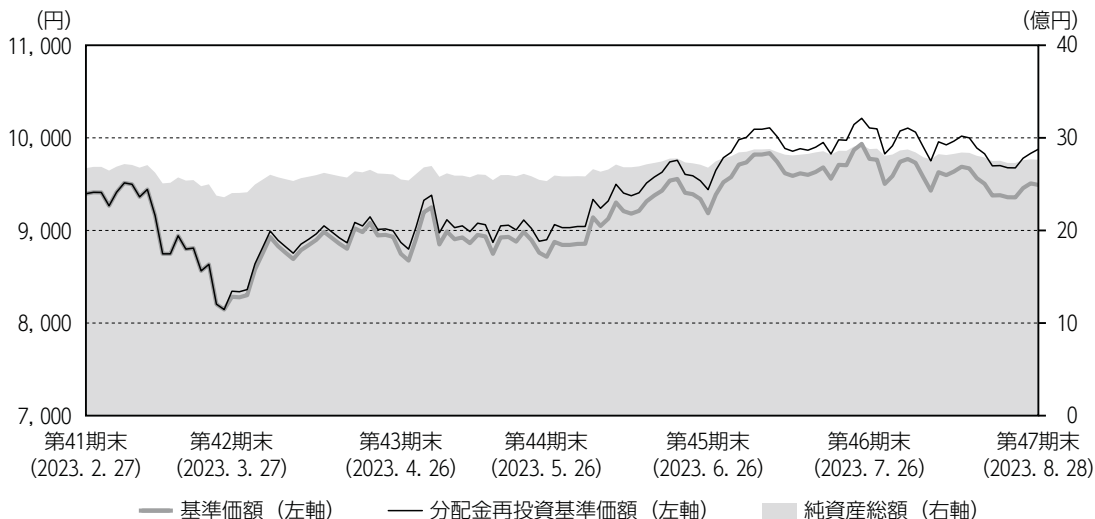
（注2）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

（注3）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第42期首：9,397円

第47期末：9,492円（既払分配金360円）

騰落率：5.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国リートは下落したものの、米国バンクローンが上昇したことや円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率
		円	騰 落 率 %	
第42期	(期首) 2023年2月27日	9,397	—	97.9
	2月末	9,412	0.2	97.5
	(期末) 2023年3月27日	8,344	△ 11.2	98.7
第43期	(期首) 2023年3月27日	8,284	—	98.7
	3月末	8,754	5.7	98.4
	(期末) 2023年4月26日	8,808	6.3	99.3
第44期	(期首) 2023年4月26日	8,748	—	99.3
	4月末	8,912	1.9	97.4
	(期末) 2023年5月26日	8,776	0.3	98.6
第45期	(期首) 2023年5月26日	8,716	—	98.6
	5月末	8,843	1.5	98.1
	(期末) 2023年6月26日	9,245	6.1	98.5
第46期	(期首) 2023年6月26日	9,185	—	98.5
	6月末	9,711	5.7	98.2
	(期末) 2023年7月26日	9,833	7.1	99.1
第47期	(期首) 2023年7月26日	9,773	—	99.1
	7月末	9,588	△ 1.9	98.0
	(期末) 2023年8月28日	9,552	△ 2.3	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

■米国リート市況

米国リート市況は下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

■米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年3月にかけては、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことやリスク回避による円買い需要の高まりなどから、下落（円高）しました。4月には、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、4月末にかけては、次回のF O M C（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、6月末にかけて米ドルは対円で

の上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落しました。8月に入り、堅調な経済指標などを背景に米国金利が上昇するに連れ、当作成期末にかけて米ドルは対円で上昇基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

（2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

（ご参考）「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

（注1）上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

（注2）比率は「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2023年2月28日 ～2023年3月27日	2023年3月28日 ～2023年4月26日	2023年4月27日 ～2023年5月26日	2023年5月27日 ～2023年6月26日	2023年6月27日 ～2023年7月26日	2023年7月27日 ～2023年8月28日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.72	0.68	0.68	0.65	0.61	0.63
当期の収益 (円)	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,992	4,047	4,111	4,169	4,239	4,308

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 106.22円	✓ 114.70円	✓ 123.62円	✓ 115.90円	✓ 127.80円	✓ 127.57円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,379.38	2,401.74	2,417.51	2,453.67	2,492.50	2,519.30
(d) 分配準備積立金	1,566.98	1,591.46	1,630.82	1,660.02	1,679.08	1,721.50
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	4,052.58	4,107.91	4,171.96	4,229.60	4,299.39	4,368.38
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,992.58	4,047.91	4,111.96	4,169.60	4,239.39	4,308.38

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M
トラスト 2 - シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第42期～第47期 (2023. 2. 28～2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	57円	0.618%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,188円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.191)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	58	0.630	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

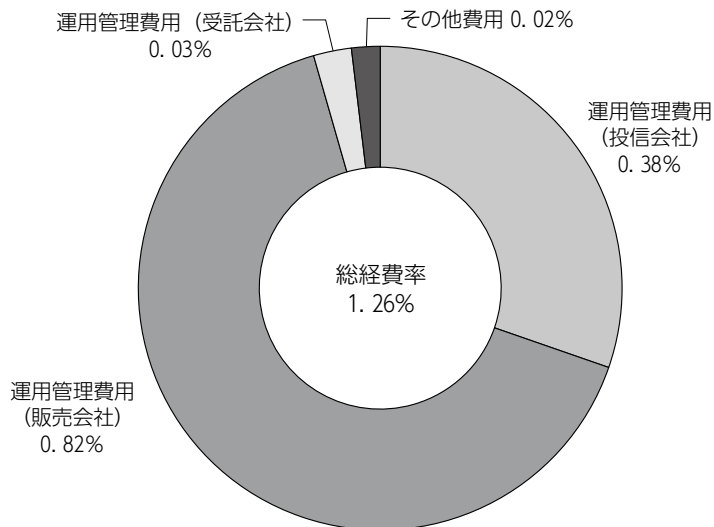
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

USリート・プラス（為替ヘッジなし／毎月分配型）

■売買および取引の状況

公社債

（2023年2月28日から2023年8月28日まで）

決算期			第42期～第47期	
			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル 2,172	千アメリカ・ドル 950 ()

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

（注3）社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

（注4）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

（2023年2月28日から2023年8月28日まで）

第42期～第47期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2025/1/19	千円 301,355	Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2025/1/19	千円 133,935

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
		千アメリカ・ドル	千円			%	%	%
アメリカ	千アメリカ・ドル 32,220	千アメリカ・ドル 18,536	千円 2,716,475	% 98.3	% —	% —	% —	% 98.3

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注4）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

第 47 期 末							
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 32,220	千アメリカ・ドル 18,536	千円 2,716,475	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	第 47 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,716,475	97.4
コール・ローン等、その他	73,189	2.6
投資信託財産総額	2,789,664	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 第47期末における外貨建純資産（2,761,925千円）の投資信託財産総額（2,789,664千円）に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月27日)、(2023年4月26日)、(2023年5月26日)、(2023年6月26日)、(2023年7月26日)、(2023年8月28日) 現在

項 目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
(A) 資産	2,426,581,259円	2,578,937,704円	2,553,680,075円	2,709,998,018円	2,903,761,443円	2,830,428,813円
コール・ローン等	51,446,858	42,452,382	52,400,312	72,243,641	51,011,663	72,203,337
公社債（評価額）	2,372,517,248	2,533,647,772	2,498,205,980	2,637,279,621	2,852,023,881	2,716,475,127
未収入金	—	—	—	—	—	40,764,015
その他未収収益	2,617,153	2,837,550	3,073,783	474,756	725,899	986,334
(B) 負債	23,202,284	28,083,409	20,161,091	31,765,389	25,067,010	66,688,904
未払金	—	—	—	—	—	41,027,504
未払収益分配金	17,407,248	17,496,530	17,440,015	17,494,333	17,673,027	17,470,264
未払解約金	3,322,672	7,936,859	8,771	11,395,655	4,413,212	4,934,967
未払信託報酬	2,456,076	2,616,381	2,661,021	2,805,510	2,891,705	3,140,335
その他未払費用	16,288	33,639	51,284	69,891	89,066	115,834
(C) 純資産総額（A－B）	2,403,378,975	2,550,854,295	2,533,518,984	2,678,232,629	2,878,694,433	2,763,739,909
元本	2,901,208,095	2,916,088,362	2,906,669,246	2,915,722,195	2,945,504,518	2,911,710,739
次期繰越損益金	△ 497,829,120	△ 365,234,067	△ 373,150,262	△ 237,489,566	△ 66,810,085	△ 147,970,830
(D) 受益権総口数	2,901,208,095口	2,916,088,362口	2,906,669,246口	2,915,722,195口	2,945,504,518口	2,911,710,739口
1万口当り基準価額（C/D）	8,284円	8,748円	8,716円	9,185円	9,773円	9,492円

* 当作成期首における元本額は2,844,976,582円、当作成期間（第42期～第47期）中における追加設定元本額は306,561,887円、同解約元本額は239,827,730円です。

* 第47期末の計算口数当りの純資産額は9,492円です。

* 第47期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は147,970,830円です。

■損益の状況

	第42期 自2023年2月28日 第43期 自2023年3月28日	至2023年3月27日 至2023年4月26日	第44期 自2023年4月27日 第45期 自2023年5月27日	至2023年5月26日 至2023年6月26日	第46期 自2023年6月27日 第47期 自2023年7月27日	至2023年7月26日 至2023年8月28日
項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(A) 配当等収益	33,322,283円	34,036,652円	38,652,274円	34,431,813円	38,234,882円	40,352,571円
受取利息	33,058,581	33,817,742	38,420,550	34,198,596	37,988,767	40,100,091
その他収益金	264,169	219,192	233,349	235,387	248,389	254,896
支払利息	△ 467	△ 282	△ 1,625	△ 2,170	△ 2,274	△ 2,416
(B) 有価証券売買損益	△ 333,253,886	120,087,985	△ 27,777,641	120,225,224	153,117,982	△ 101,022,956
売買益	591,353	121,201,004	114,218,844	122,964,172	197,505,914	110,726,280
売買損	△ 333,845,239	△ 1,113,019	△ 141,996,485	△ 2,738,948	△ 44,387,932	△ 211,749,236
(C) 信託報酬等	△ 2,504,770	△ 2,665,510	△ 2,717,472	△ 2,858,960	△ 2,949,934	△ 3,206,079
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 302,436,373	151,459,127	8,157,161	151,798,077	188,402,930	△ 63,876,464
(E) 前期繰越損益金	△ 179,463,907	△ 495,104,778	△ 356,620,737	△ 359,586,392	△ 222,696,432	△ 50,623,700
(F) 追加信託差損益金	1,478,408	△ 4,091,886	△ 7,246,671	△ 12,206,918	△ 14,843,556	△ 16,000,402
(配当等相当額)	(690,308,041)	(700,371,012)	(702,691,073)	(715,423,518)	(734,168,738)	(733,548,466)
(売買損益相当額)	(△ 688,829,633)	(△ 704,462,898)	(△ 709,937,744)	(△ 727,630,436)	(△ 749,012,294)	(△ 749,548,868)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 480,421,872	△ 347,737,537	△ 355,710,247	△ 219,995,233	△ 49,137,058	△ 130,500,566
(H) 収益分配金	△ 17,407,248	△ 17,496,530	△ 17,440,015	△ 17,494,333	△ 17,673,027	△ 17,470,264
次期繰越損益金 (G + H)	△ 497,829,120	△ 365,234,067	△ 373,150,262	△ 237,489,566	△ 66,810,085	△ 147,970,830
追加信託差損益金	1,478,408	△ 4,091,886	△ 7,246,671	△ 12,206,918	△ 14,843,556	△ 16,000,402
(配当等相当額)	(690,308,041)	(700,371,012)	(702,691,073)	(715,423,518)	(734,168,738)	(733,548,466)
(売買損益相当額)	(△ 688,829,633)	(△ 704,462,898)	(△ 709,937,744)	(△ 727,630,436)	(△ 749,012,294)	(△ 749,548,868)
分配準備積立金	468,024,079	480,036,217	492,521,013	500,318,884	514,547,746	520,927,947
繰越損益金	△ 967,331,607	△ 841,178,398	△ 858,424,604	△ 725,601,532	△ 566,514,275	△ 652,898,375

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
(a) 経費控除後の配当等収益	30,817,513円	33,448,107円	35,934,802円	33,795,409円	37,645,485円	37,146,492円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	690,308,041	700,371,012	702,691,073	715,423,518	734,168,738	733,548,466
(d) 分配準備積立金	454,613,814	464,084,640	474,026,226	484,017,808	494,575,288	501,251,719
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,175,739,368	1,197,903,759	1,212,652,101	1,233,236,735	1,266,389,511	1,271,946,677
(f) 分配金	17,407,248	17,496,530	17,440,015	17,494,333	17,673,027	17,470,264
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,158,332,120	1,180,407,229	1,195,212,086	1,215,742,402	1,248,716,484	1,254,476,413
(h) 受益権総口数	2,901,208,095□	2,916,088,362□	2,906,669,246□	2,915,722,195□	2,945,504,518□	2,911,710,739□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金（税込み）	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
		60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

（為替ヘッジあり／年2回決算型）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落	中 率			
4 期 末 (2021年 8 月26日)	円 9,813	円 300		% 19.6	% 96.6	百万円 27	
5 期 末 (2022年 2 月28日)	9,293	300	△	2.2	96.5	23	
6 期 末 (2022年 8 月26日)	8,292	250	△	8.1	98.9	15	
7 期 末 (2023年 2 月27日)	7,092	150	△	12.7	99.5	13	
8 期 末 (2023年 8 月28日)	6,629	100	△	5.1	94.8	12	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

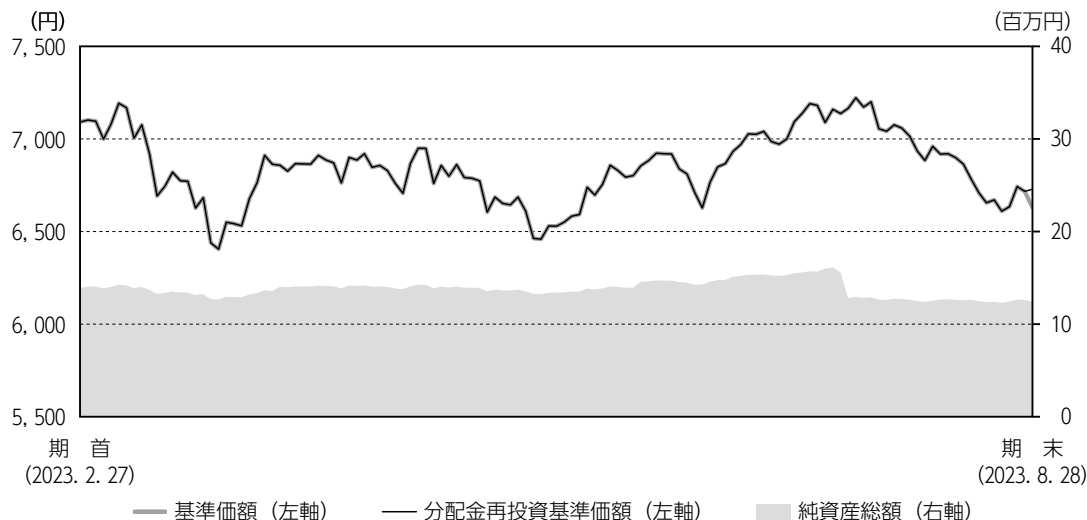
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：7,092円

期末：6,629円（分配金100円）

騰落率：△5.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローンは上昇したものの、米国リートが下落したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジあり／年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期首) 2023年 2月27日	7,092	—	99.5 %
2月末	7,102	0.1	98.7
3月末	6,764	△ 4.6	95.9
4月末	6,868	△ 3.2	97.9
5月末	6,550	△ 7.6	95.1
6月末	6,933	△ 2.2	98.2
7月末	7,042	△ 0.7	95.2
(期末) 2023年 8月28日	6,729	△ 5.1	94.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28)

米国リート市況

米国リート市況は下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B (米国連邦準備制度理事会) による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I (消費者物価指数) が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

米国バンクローン市況

米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B (米国連邦準備制度理事会) による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I (人工知能) 関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国は政策金利であるF F レート (フェデラル・ファンド・レート) の誘導目標を4. 50~4. 75%から5. 25~5. 50%に上げました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

（2023. 2. 28 ～ 2023. 8. 28）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

（ご参考）「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

（注1）上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

（注2）比率は「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年2月28日 ～2023年8月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	100
対基準価額比率	（％）	1.49
当期の収益	（円）	100
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,883

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	465.23円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		715.50
(d) 分配準備積立金		802.47
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		1,983.21
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		1,883.21

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 2. 28~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.620%	信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,845円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0.255	その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.119)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(9)	(0.132)	CLS 決済に関わる手数料、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	60	0.875	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

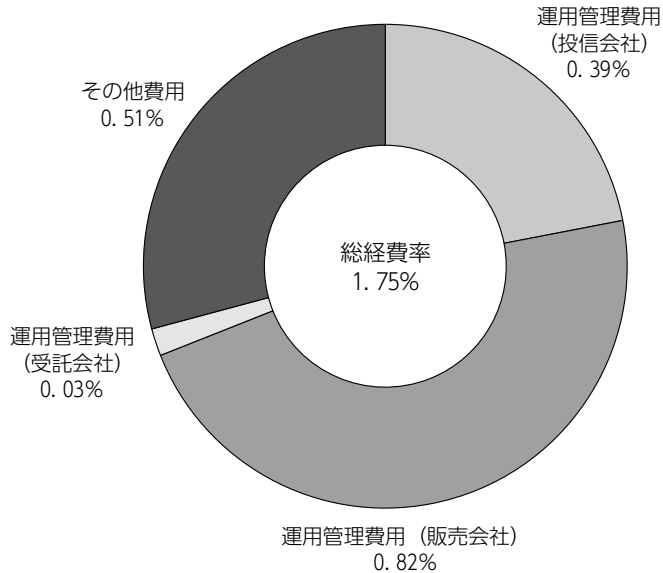
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

USリート・プラス（為替ヘッジあり／年2回決算型）

■売買および取引の状況

公社債

（2023年2月28日から2023年8月28日まで）

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		社債券 17	社債券 29
		(—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

（2023年2月28日から2023年8月28日まで）

当期		前期	
買付	金額	売付	金額
銘柄	千円	銘柄	千円
Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2025/1/19	2,515	Star Helios Plc（アイルランド）- floating - 2025/1/19	4,232

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	当作成期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	—	—	10	当初設定時における取得

- (注1) 金額は元本ベース。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区分	額面金額	評価額		組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額		うちBB格以下組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 140	千アメリカ・ドル 80	千円 11,803	% 94.8	% —	% —	% —	% 94.8

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 140	千アメリカ・ドル 80	千円 11,803	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	11,803	89.2
コール・ローン等、その他	1,423	10.8
投資信託財産総額	13,227	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（12,709千円）の投資信託財産総額（13,227千円）に対する比率は、96.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	25,691,321円
コール・ローン等	581,913
公社債（評価額）	11,803,430
未収入金	13,305,978
(B)負債	13,234,859
未払金	12,954,886
未払収益分配金	187,901
未払解約金	15
未払信託報酬	85,622
その他未払費用	6,435
(C)純資産総額（A－B）	12,456,462
元本	18,790,155
次期繰越損益金	△ 6,333,693
(D)受益権総口数	18,790,155口
1万口当り基準価額（C／D）	6,629円

*期首における元本額は19,620,804円、当作成期間における追加設定元本額は3,910,798円、同解約元本額は4,741,447円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は6,629円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,333,693円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月28日 至2023年8月28日

項 目	当 期
(A)配当等収益	994,814円
受取利息	988,321
その他収益金	6,536
支払利息	△ 43
(B)有価証券売買損益	△ 1,495,062
売買益	1,718,171
売買損	△ 3,213,233
(C)信託報酬等	△ 120,630
(D)当期損益金（A＋B＋C）	△ 620,878
(E)前期繰越損益金	△ 2,765,893
(F)追加信託差損益金	△ 2,759,021
(配当等相当額)	(1,344,438)
(売買損益相当額)	(△ 4,103,459)
(G)合計（D＋E＋F）	△ 6,145,792
(H)収益分配金	△ 187,901
次期繰越損益金（G＋H）	△ 6,333,693
追加信託差損益金	△ 2,759,021
(配当等相当額)	(1,344,438)
(売買損益相当額)	(△ 4,103,459)
分配準備積立金	2,194,148
繰越損益金	△ 5,768,820

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	874,184円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,344,438
(d) 分配準備積立金	1,507,865
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,726,487
(f) 分配金	187,901
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,538,586
(h) 受益権総口数	18,790,155口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

(為替ヘッジなし/年2回決算型)

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率		
	円	円		%	百万円
4 期末 (2021年 8 月26日)	10,406	350	24.4	96.7	53
5 期末 (2022年 2 月28日)	10,302	350	2.4	95.9	20
6 期末 (2022年 8 月26日)	11,007	350	10.2	94.2	28
7 期末 (2023年 2 月27日)	9,568	350	△ 9.9	94.8	21
8 期末 (2023年 8 月28日)	9,600	350	4.0	76.4	37

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

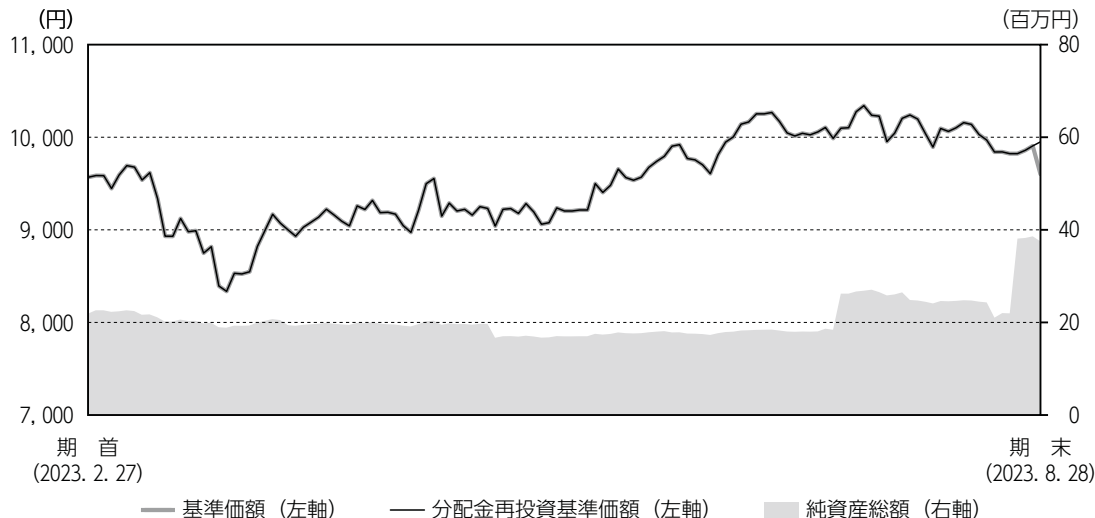
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,568円

期末：9,600円 (分配金350円)

騰落率：4.0% (分配金込み)

■ 基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券 (米ドル建) を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン (貸付債権) 等に投資し運用した結果、米国リートは下落したものの、米国バンクローンが上昇したことや円安が進行したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

USリート・プラス（為替ヘッジなし／年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年 2月27日	9,568	—	94.8
2月末	9,586	0.2	92.0
3月末	8,996	△ 6.0	94.5
4月末	9,209	△ 3.8	95.1
5月末	9,203	△ 3.8	94.1
6月末	10,141	6.0	95.7
7月末	10,043	5.0	98.7
(期 末) 2023年 8月28日	9,950	4.0	76.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2023. 2. 28 ～ 2023. 8. 28）

■米国リート市況米国リート市況は下落しました。

米国リート市況は、当作成期首から2023年3月半ばにかけて、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に信用不安への警戒感が高まったことなどから、軟調な推移となりました。3月末から4月にかけては、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の導入などを受けて投資家のリスク回避姿勢が後退し、おおむね堅調な推移となりました。5月から6月にかけては、米国における銀行の信用不安への警戒感や債務上限問題をめぐる不透明感、F R B（米国連邦準備制度理事会）による追加的な金融引き締めへの警戒感、景気をめぐる不確実性などの動向に左右され、上下する展開となりました。7月は、6月のC P I（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇しました。8月に入り、堅調な小売売上高が発表されたことなどから米国経済の底堅さが意識されて金利は上昇傾向となり、米国リート市況は当作成期末にかけて下落基調となりました。

■米国バンクローン市況米国バンクローン市況は上昇しました。

米国バンクローン市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落する局面もありましたが、2023年3月後半には、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。5月下旬以降は、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決などが好感されて上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場米ドル為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年3月にかけては、信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことやリスク回避による円買い需要の高まりなどから、下落（円高）しました。4月には、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、4月末にかけては、次回のF O M C（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、6月末にかけて米ドルは対円で

の上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落しました。8月に入り、堅調な経済指標などを背景に米国金利が上昇するに連れ、当作成期末にかけて米ドルは対円で上昇基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

ポートフォリオについて

（2023. 2. 28 ~ 2023. 8. 28）

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

（ご参考）「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
NESTLE SKIN HEALTH SA	バンクローン	米ドル	9.09	2026/10/1	1.4%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	8.81	2026/8/21	1.3%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	8.47	2028/5/4	1.2%
AZENTA INC	バンクローン	米ドル	8.14	2029/2/1	1.1%
ALLIANCE LAUNDRY SYSTEMS LLC	バンクローン	米ドル	8.90	2027/10/8	1.1%
PRIME SECURITY SERVICES BORROWER, LLC / PRIME FINANCE INC	バンクローン	米ドル	7.94	2026/9/23	1.1%
MOZART DEBT MERGER SUB INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2028/10/23	1.0%
CAMELOT FINANCE SA	バンクローン	米ドル	8.22	2026/10/30	0.9%
INTELSAT JACKSON HOLDINGS S. A.	バンクローン	米ドル	9.44	2029/2/1	0.9%
COMMSCOPE, INC.	バンクローン	米ドル	8.47	2026/4/6	0.8%

（注1）上記データは2023年7月31日の前営業日現在のものです。

（注2）比率は「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産に対する比率です。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年2月28日 ～2023年8月28日	
当期分配金（税込み）	（円）	350
対基準価額比率	（％）	3.52
当期の収益	（円）	286
当期の収益以外	（円）	63
翌期繰越分配対象額	（円）	2,520

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	286.04円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		2,254.00
(d) 分配準備積立金	✓	330.71
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		2,870.76
(f) 分配金		350.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		2,520.76

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド US Dクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 2. 28～2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0.620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,525円です。
（投 信 会 社）	(18)	(0.192)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	16	0.165	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(10)	(0.108)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(5)	(0.053)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	75	0.785	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

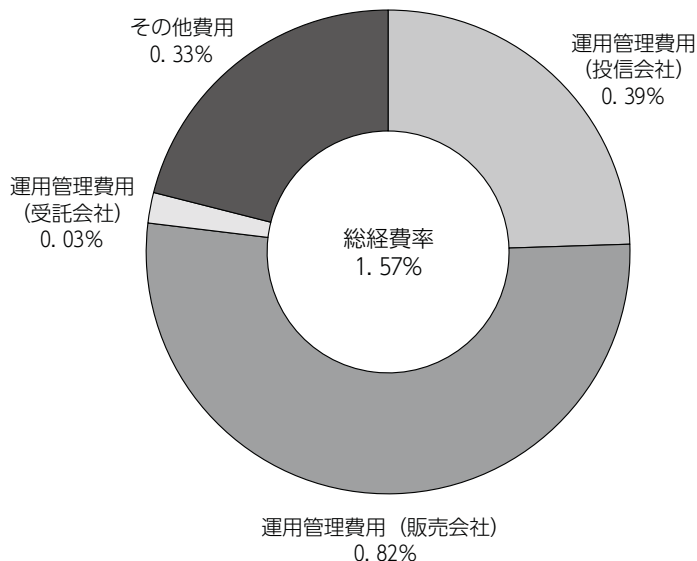
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。

純資産総額に対して年率0.604%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

		買付額	売付額
外国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		183	123
		(—)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2023年2月28日から2023年8月28日まで)

当期		当	
買付		期	
銘柄		金 額	
		千円	
Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	26,427	Star Helios Plc (アイルランド) - floating - 2025/1/19	17,778

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作成期 区 分	額面金額	評 価 額		当 期 末		残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 340	千アメリカ・ドル 195	千円 28,665	% 76.4	% —	% —	% —	% 76.4

- (注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
 (注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区分	銘柄	当 期 末			評 価 額		償還年月日
		種 類	年 利 率	額面金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	Star Helios Plc	社債券	% —	千アメリカ・ドル 340	千アメリカ・ドル 195	千円 28,665	2025/01/19

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) クーポンが変動するため、年利率は「—」で表記しています。

■投資信託財産の構成

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	28,665	53.7
コール・ローン等、その他	24,700	46.3
投資信託財産総額	53,365	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月28日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝146.55円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（36,699千円）の投資信託財産総額（53,365千円）に対する比率は、68.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	61,261,766円
コール・ローン等	17,955,535
公社債（評価額）	28,665,473
未収入金	14,640,758
(B) 負債	23,764,530
未払金	22,262,788
未払収益分配金	1,367,141
未払信託報酬	127,907
その他未払費用	6,694
(C) 純資産総額（A－B）	37,497,236
元本	39,061,175
次期繰越損益金	△ 1,563,939
(D) 受益権総口数	39,061,175口
1万口当り基準価額（C／D）	9,600円

* 期首における元本額は22,895,467円、当作成期間中における追加設定元本額は27,225,241円、同解約元本額は11,059,533円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,600円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,563,939円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月28日 至2023年8月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,279,284円
受取利息	1,272,044
その他収益金	7,479
支払利息	△ 239
(B) 有価証券売買損益	△ 394,100
売買益	2,079,903
売買損	△ 2,474,003
(C) 信託報酬等	△ 161,950
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	723,234
(E) 前期繰越損益金	△ 938,956
(F) 追加信託差損益金	18,924
(配当等相当額)	(8,804,412)
(売買損益相当額)	(△ 8,785,488)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 196,798
(H) 収益分配金	△ 1,367,141
次期繰越損益金（G＋H）	△ 1,563,939
追加信託差損益金	18,924
(配当等相当額)	(8,804,412)
(売買損益相当額)	(△ 8,785,488)
分配準備積立金	1,041,990
繰越損益金	△ 2,624,853

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,117,334円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,804,412
(d) 分配準備積立金	1,291,797
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	11,213,543
(f) 分配金	1,367,141
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	9,846,402
(h) 受益権総口数	39,061,175口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	350円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。